

研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 藤岡 雅哉

令和7年7月29日～30日下記について、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	決算審査直前 特別集中セミナー ～心構えから知っておくべきポイントまで～
研修の目的	議員になり3回目の決算審査を迎えるにあたり、執行部に対する監視の役割を全うする為、これまで自己流で検討してきた決算審査準備に対し、改めて決算審査のポイントなど気づきを得たいと思い参加した。
講師：可児市議会 川上文浩氏	
1 「市民の参画で地域の課題を解決する議会」可児市議会の取組	
・決算審査からの提言→予算審査の充実	
・広聴機能 議会報告会・常任委員会と市民との懇談会・高校生議会等（主権者教育）	
・議選監査委員報告（毎定例会）・常任委員会との情報共有（正副委員長会議）	
・常任委員会の充実：代表質問・会期前委員会・一般質問からの所管事務追加・市民との懇談会・市内視察	
・広報機能：ギカイの扉（広報紙）・議会報告会・FM ラジオ放送・CATV 番組制作	
・予算決算委員会（議長・監査委員以外全員所属）における決算予算審査	
・決算審査：重点事業点検報告書（焼津における事務事業評価シート）をもとに審査を行い、市に対して提言案を策定し、議場にて提言を行う。市は提言対応の結果を決算審査で報告する。	
・予算審査：市は重点事業説明シートを活用し提言反映の結果を報告、審議に入る	
気付き	
・予算決算が執行部の追認になっておらず、また監視機能だけではなく、市民の意見反映、一般質問などの意見を委員会の所管事務に追加して議論した後に提言へ盛り込むなど、市民の課題と市の事業・執行するための予算決算が完全に関連して機能している。	
・本機能を維持するため、議会基本条例において「市民参加及び市民との連携」「常任委員会の活動」が規定されている。	
・予算決算委員会は「特別」ではなく常設／常任委員会は議場において委員会代表質問が認められており、所管する市内事業に対し質問を行う。その為市外の視察より市内視察が多い。	
2 予算審議前の議会からの決算審査報告	
・可児市の監査は全課に対し年1回1時間程度度実施する（執行部の緊張）	
・学校も監査（学校は無法地帯 管理されていない物件が山のよう）	
・「監査委員意見書」に目を通して、事前に状況把握をすべし	
・着眼点「財政指標」「収納率」（90%を切ったらまずい・差押え件数もチェックする）「有収率」	
・現在は滞納者の銀行に問い合わせれば3日で財産全てがわかる	
・不要額もチェックする（適正予算か）※政務活動費の変換も不用額である	
・時間外勤務の状況	
・基金の資産運用も指摘すべき（60%の運用が認められている）	

気付き

- ・焼津市における監査について指摘することは難しい（自分が監査委員になる可能性もない）
- ・決算審査の際、「時間外勤務」の状況、「基金の運用」などの着眼点を追加したい。

3 可児市議会における決算の進め方（予算決算委員会）

- ・事前資料配布：決算書・意見書・決算カード・重点事業点検報告書
- ・決算説明：3日間 対象事業＝重点事業＋前年度比±20%以上の事業（令和5年度156事業）
- ・質問の通告：決算説明に対する質問（以下議員向け留意事項）

「活発な自由討議など、より深い審議が行えるよう、各委員において資料の精読、執行部への事前確認等、内容把握を十分に行うこと。質問事項は 討論に付すべき内容か、執行部への提言に結びつく内容であるかを各委員において十分に精査すること。」

- ・場合によっては委員長が質問を却下する場合もある
- ・質疑審査政策提言（3日間）：分科会により質疑、審査を経て委員会として政策提言を策定
- ・討論採決（1日間）
- ・政策提言のまとめ：各分科会長による政策提言案報告→自由討議→政策提言のまとめ
- ・政策提言は、全会一致のみを採用する。原則として分科会を経ない新たな提言案は追加しない。

気付き

- ・決算に重きを置いている議会だと強く感じた。執行部の説明の長さ、議員の質問も提言に結びつく討論に付すべき内容以外は却下されてしまうという、レベルの高いものであり、その場の思い付きで、事務事業評価シートを確認すればわかる質問などはされないことが確認できた。
- ・議会全体でルール化していないと同じ流れにはならないが、決算審査前に事務事業評価シートの議会向け公開は約束されており、事前に精査した上で委員会に臨みたい。
- ・焼津市議会も、分科会審査前に当局に対し質問事項を事前に通達し、数字など簡単なことは事前に書面で回答をもらい、分科会の際はより本質的な質疑をすることで、かなりのレベル向上になると思われるので、提案したい。

今後調査研究・実践すべき事項

決算審査を政策提言に活かす議会

- ✓ 焼津市議会において可児市議会と同じことは現時点でできないが、自分自身が決算審査、予算審査に臨むにあたり、単に監視するのみではなく、事務事業評価を精読し、事業を理解した上で、事業が市民にとってより良いものになるよう、提言につながるように考えたい。
- ✓ 焼津市議会に対しても予算決算審査の質問事項事前通告など、具体的な提案ができる。
- ✓ 以下、今後取り組むべきことを列挙する

具体的な取り組み

1. 所属常任委員会において市内視察の提案をし、所管事務の理解を深め、予算決算審査に活かす。
2. 決算審査時には不用額をチェックする。
3. 時間外勤務（常勤と会計年度とも）が適正か状況を確認する。
4. 基金は60%の資産運用が認められているため、運用益を確認する。
5. 決算審査前に事務事業評価を読み込み、適正な支出であったかを確認すると同時に、次の予算計画につながるよう、提案を盛り込むようにする。
6. 予算決算特別委員会に対し、質問の事前通告を提案する。

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

初開催

録画視聴
可能

心構えから知っておくべきポイントまで

決算審査直前 特別集中セミナー

2025

7/29火 30水

▶LIVE 会場 &
オンライン配信



講師：川上文浩
可児市議会議員

9月には多くの自治体議会で決算審査が行われます。皆さんの議会ではどのように審査をされていますか？ローカル・マニフェスト推進連盟では、議会改革のひとつとして決算審議や監査の在り方についてこれまで議論を重ねてきました。しかし、参加者から「もっと時間をかけて具体的な事例を知りたい」「市民福祉や住民自治に直結する審査や監査の在り方を学びたい」などの声が多数ありました。そこで今回、決算審査をテーマとした集中セミナーを開催することにいたしました。

これまで先進的な取組みを進めてきた可児市での実践報告をもとに、決算審査のポイントを議員の立場からわかりやすく解説します。参加者との質疑応答や意見交換も重視して行いますので、異なる議会の取組みから互いに学び合うことも可能です。決算審議を深めたいと考える、議会や委員会単位でのご参加も歓迎します。どうぞ、熱い学びの2日間にご参加ください。

【日 時】2025年7月29日（火）13～16時

2025年7月30日（水）10～13時

【講 師】川上文浩 可児市議会議員

（元議長、現職監査委員4年目 / ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表）

【手 法】会場（定員 先着10名様）+Zoomでのオンライン（定員なし）

【会 場】ローカル・マニフェスト推進連盟 国立事務所（東京都国立市 中 1-7-41）

【参加費】11,000円（税込み）

※1日参加も2日参加も同じ金額です ※後日、録画視聴が可能です

【申込み】WEBサイトよりお申込みください

【主 催】ローカル・マニフェスト推進連盟

▽主なテーマ

【DAY1】①決算審査に入る前に～心構えと事前調査。論点の整理～

②監査委員～一般会計・特別会計歳入歳出決算及び
基金運用状況意見書と決算カードを生かそう～

③歳入の見方・歳出の見方

【DAY2】④重点事業シートを生かそう（執行部の内部評価表等）

～新規事業・継続事業の評価を考える～

⑤効率の良い質疑をしよう

⑥質疑から見えてくるもの

<お問合せ> (社) マニフェスト研究会 ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
TEL：050-8894-0671 / e-mail：lm@local-manifesto.jp

